

この度はKR-407Sをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。この製品は最新の2.4GHz SS方式を採用しており、従来のクリスタル方式のようなバンドの空きを探す必要なく、複数台数での同時使用が可能です。弊社より発売の以下の送信機およびRFモジュールとの組み合わせに対応します。製品をご使用前に、この取扱説明書並びにお手持ちの送信機の取扱説明書もあわせてご確認ください。なお製品改良の為、この説明書の内容を予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

対応 送信機・RFモジュール EX-5UR / RF-901S

取り扱い上の注意 安全にお使いいただくために、特に注意する事柄です。

警告! この表示は、〔死亡又は重傷を負う可能性が想定され、高い頻度で物損事故が発生する〕内容を示しています。

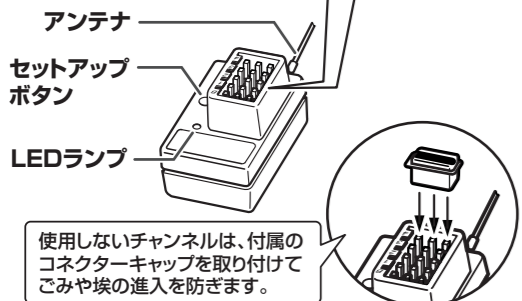
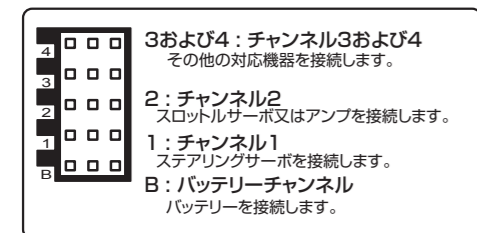
- この製品は地上用ラジコン模型を対象に設計・製造されております。＊他用途へのご使用はおやめください。
- 雷の鳴っている所では走行させないでください。＊送信機のアンテナなどに落雷の危険があります。
- 雨天や水たまりのある所では走行させないでください。＊機器に水が入り暴走する事があります。
- 疲労・飲酒・服薬により集中力が支障をきたすような時には使用しない。＊判断ミスにより思わぬ事故を起こします。
- 製品には角張った部分やとがった部分がありますので、十分注意してください。
小さなお子様のいる場所での使用、保管は避けてください。＊誤飲による中毒、やけど、けがの危険性があります。
- 電池は送信機の説明書で指定のものをご利用下さい。
- 必ず、送信機→受信機の順にスイッチを入れて下さい。スイッチを切るときには、必ず受信機→送信機の順で行って下さい。
- 送信機・サーボ、その他オプションパーツは、必ず当社純正品を使用してください。
＊当社純正品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては当社では責任を負いません。
- 送信モジュールは、法令により分解が禁止されており、罰則の対象となります。すべての製品の分解・改造は、ショートその他の事故の原因となります。また、サービス部での修理の受付をお断りする場合があります。
- 航空機内・病院内、火災報知器などの自動制御機器および医療電気機器の近くなどでは本製品は使用しないでください。
誤作動による重大事故が発生する場合があります。
また、法令上他の無線機器、電子機器に影響を与える場合には、直ちに使用を中止しなければなりません。

注意! この表示は、〔傷害を負う可能性又は物損事故が発生する事が想定される〕内容を示しています。

- 故障や破損、変形の原因となるため、高温、多湿の場所への保管はお避け下さい。
また、水滴などが飛散しないようにご注意ください。
- エンジン模型に使用するには、排気、廃油、燃料が製品にかからないように注意してください。
＊水没、油没の場合には速やかに修理に出してください。
- この製品は、この説明書および使用する送信機の説明書に基づいた使用方法において所定の性能を発揮するように設計されています。よくわからない場合には、使用法をご存知の方や、販売店様のアドバイスを受けてご利用ください。
- 万一の事故を考えて、安全を確認してから責任を持ってお楽しみ下さい。

ラジコン模型の性質上、お客様が当製品を使用された結果につきまして、弊社では責任を負いかねます。

各部の名称



アンテナの取り付け

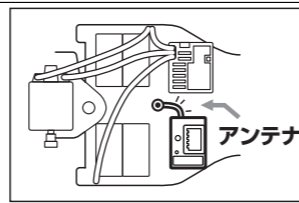
- 樹脂製のアンテナパイプを使用し、アンテナマウントには必ず樹脂製のモノを使用して下さい。
- 金属製のマウントではノイズを通しやすく、トラブルの原因になりますので絶対に使用しないで下さい。
- アンテナ本体を保護する為に、アンテナパイプに入れ、先端を外に出さないで下さい。
また、アンテナは折り曲げや切断をしないで下さい。断線の原因となり、所定の性能が発揮できなくなります。



注意! アンテナ線は絶対に切らないで下さい。受信不能になります。受信機はバッテリー、アンプ、モーターやシリコンコードといったノイズ源から極力離してください。アンテナ線とシリコンコードは特に注意が必要です。

搭載位置について 電動カーに搭載する際の注意

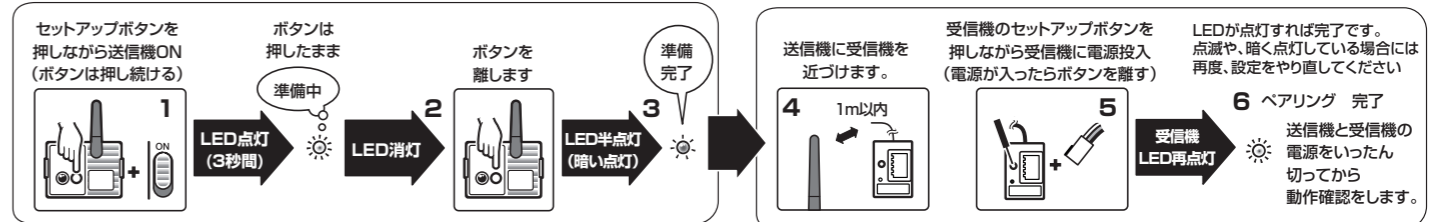
搭載位置は、バッテリーやモーター、エレクトリックスピードコントローラー等のノイズ源からなるべく遠ざけて下さい。パワーアップコンデンサやショットキーダイオードもノイズを発生させる時がありますので、受信機やアンテナからなるべく遠ざけて下さい。



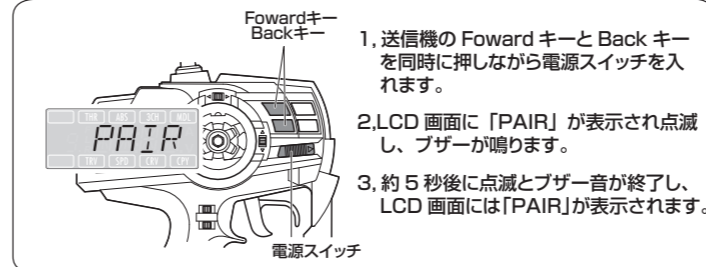
ペアリング

初めて受信機を動作させる際、モジュールまたは送信機のID番号を受信機に記憶させる「ペアリング操作」が必要になります。使用されるモジュールまたは送信機を変更する際にもペアリングを行います。一台のモジュール(送信機)で複数の受信機(車体)をさせる際には、ペアリングを各々の受信機に最初の1回だけ行います。

RF-901Sの場合



EX-5URの場合



注意! 近くで他の方がペアリングを行っていたり、無線LANや電子レンジの影響でペアリングがうまくいかない場合は、その場を離れるか、タイミングを変えて再度ペアリングを行ってください。

- ①送信機または、RFモジュール側をペアリングが出来る状態で電源を入れます。RFモジュールと送信機の機種により方法が異なります。左の図およびそれぞれの機種の取り扱い説明書をご参照ください。
- ②送信機側(RFモジュール)の準備ができたなら、KR-407Sのセットアップボタンを押しながら電源を投入します。(電動カーでスピードコントローラーをお使いの場合には、接続したスピードコントローラーの電源を入れることで、電源が供給されます。)
- ③電源が入ったら、セットアップボタンを離し、KR-407Sのランプが点灯したら、ペアリング完了です。
- ④ペアリング完了したら、送受信機の電源をいったん切り、ボタンの操作をせず普通に電源をいれて、動作を確認してください。

注意! ペアリング完了後は、送信機→受信機の順に電源を入れてご利用ください。

キャリアセンスと使用上の注意

警告! 適切にキャリアセンスが行えるよう、送信機の電源を入れる際にはできる限り走行場所に近い位置でスイッチをONにしてください。

RF-901Sモジュールは、電源投入時に未使用の周波数を検出する「キャリアセンス」を行い、空いている周波数を送信機と受信機に自動的に割り当てます。

フェイルセーフ機能の設定

受信機が送信機の電波を失った場合、2チャンネル(スロットル)を任意の位置に保持する機能です。通常はブレーキもしくはニュートラルに設定します。

警告! 安全のために必ずフェイルセーフを設定してください。

注意! フェイルセーフ動作位置を変更する場合、もう一度設定を行ってください。エンジンカーでブレーキリンケージを修正した場合にも再度設定することをオススメします。

設定手順

- 送信機と受信機を通常通り電源を入れます。
- 送信機のスロットルを、設定したい位置に動かします。この状態で、受信機のセットアップボタンを押します。

- ボタンを押し続け、LEDランプが一旦消灯してから再度点灯したら、セットアップボタンを離します。
これでフェイルセーフの設定が完了しました。

KR-407Sと従来機種との互換性について

- 従来機種をご使用の状態から、受信機のみをKR-407Sに交換した場合、次の点にご注意ください。
各チャンネルの動作範囲が従来機種より大きくなるため、送信機側でステアリングトラベルや、スロットルハイポイント、ブレーキポイントなどを再調整する必要があります。また、電動カーの場合には、ESC(スピードコントローラー)の初期設定を再度おこなってください。

注意! そのまま使用した場合、サーボがロックして故障の原因となったり、動作異常を起こす場合があります。

● 修理について

故障修理を依頼される場合は、その故障状況を出来るだけ詳しくレポートして下さい。修理箇所のポイントを確認にすることで、修理時間が短くなります。

故障かなと思ったら

- もう一度、この説明書をごらんになってお調べ下さい。
- それでも解らない場合は当社サービス部へお問い合わせ下さい。
サービス部にご相談の際は故障の状況を下記の内容を参考にできるだけ詳しくお知らせ下さい。
- お使いの(送信機・受信機・サーボ・エレクトリックスピードコントローラー・モーター・走行用バッテリー・車)の名前
- 故障してしまった時の使用状況と故障の内容、症状
- お客様の住所、氏名、連絡先電話番号
- 修理を依頼される時は、上記の内容をできるだけ詳しく書いたメモを必ず一緒にお送り下さい。

● テクニカルスペック

- KR-407S Receiver(受信機)
ハイスピードレスポンス対応 / フェイルセーフ機能
チャンネル数:4CH /
電源:4.8v~7.4v
サイズ:28x18.3x18.5 / 重量:7.5g

近藤科学株式会社 サービス部

お問い合わせは Phone:03-3807-7648
受付時間:月曜日~金曜日(祝祭日を除く)
9:00~12:00, 13:00~17:00

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-17-7
Web site : www.kopropro.co.jp